

ド イ ツ 語

科目責任者 能 登 慶 和
学年・学期 1 学年・通年

I. 前 文

獨協学園の「獨協」は「獨逸（ドイツ）学協会」の略称である。その名前の由来からも分かるように、獨協学園はその創設時からドイツ連邦共和国とは密接な関係にあり、獨協学園は「語学の獨協」ともいわれている。実際、国際的視野を持った医師を育成することは獨協医科大学の教育目標の一つでもある。

外国語を学ぶ最大のメリットは、自分たちとは異なる価値観や世界観を持つ外国の文化と出会い、また異なる「他者」の存在を認識し、そこから逆に、日本の文化、そして自らを相対化、客体化して眺めることができるようになる点にある。ドイツ語ではこの「文化的複眼」の獲得をめざし、グローバルな視点から物事をとらえる能力を養う。

II. 担当教員

能 登 慶 和 （語学・人文教育部門）
笹 原 健 （語学・人文教育部門、非常勤講師）

III. 一般学習目標

1. ドイツ語の基礎的な構造を、その考え方の特徴から理解する。
2. ドイツ語独自の考え方と、日本語および英語の考え方との共通点や相違点を理解し、その構造を比較する。
3. ドイツ語を学ぶことによって、私たちとドイツ人の価値観の違いを知り、複眼的視点から異文化をとらえる。
4. ドイツ語で簡単な意思疎通ができるよう、「読む」・「聴く」・「書く」・「話す」に「interaction」を加えた5技能の総合的なコミュニケーション能力を習得する。

IV. 学修の到達目標

1. ドイツ語の正しい発音を身につける。
2. 基本語彙を習得し適切に使用する。
3. ドイツ語の文法の概略を理解し応用する。
4. 簡素に書かれたドイツ語の文章を理解する。
5. 基本的な会話のパターンを身に付け、他者と対話する。
6. 日本とドイツの異文化に着目し、説明する。

V. 授業計画及び方法 *（ ）内はアクティブラーニングの番号と種類

- （1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）
2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション
6：その他）

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	4	30	水	3	導入：Das Alphabet, 発音 アルファベットの読み方, 発音, 基本的な挨拶	能 登 慶 和 笹 原 健	3
2		30	水	4	Lektion 1：動詞の現在人称変化と語順 人称代名詞, 動詞の人称変化（規則動詞）		1
3	5	7	水	3	Lektion 1：動詞の現在人称変化と語順 重要動詞の人称変化, 語順（動詞の位置）		1
4		7	水	4	Lektion 1：動詞の現在人称変化と語順 話してみよう（はじめまして）、読解1		3

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブ ラーニング
5	5	14	水	4	ブロックテスト① Lektion 1	能 登 慶 和 笹 原 健	
6		21	水	3	Lektion 2：名詞・接続詞 名詞の性・冠詞, 名詞の格変化		1
7		21	水	4	Lektion 2：名詞・接続詞 疑問代名詞の格変化, 並列の接続詞		1
8		28	水	4	Lektion 2：名詞・接続詞 話してみよう (職業は何ですか?), 読解2		3
9	6	4	水	3	ブロックテスト② Lektion 2		
10		4	水	4	Lektion 3：不規則動詞の人称変化と命令形・名詞の複数形と 人称代名詞 不規則動詞の人称変化, 命令形		1
11		11	水	3	Lektion 3：不規則動詞の人称変化と命令形・名詞の複数形と 人称代名詞 名詞の複数形, 人称代名詞の3格と4格		1
12		11	水	4	Lektion 3：不規則動詞の人称変化と命令形・名詞の複数形と 人称代名詞 話してみよう (趣味は何?), 読解3		3
13		18	水	3	ブロックテスト③ Lektion 3		
14		18	水	4	Lektion 4：冠詞類・非人称のes 定冠詞類と不定冠詞類		1
15	7	9	水	3	Lektion 4：冠詞類・非人称のes 否定冠詞, 否定疑問文, 非人称のes		1
16		9	水	4	Lektion 4：冠詞類・非人称のes 話してみよう (買い物), 読解4		3
17		16	水	3	ブロックテスト④ Lektion 4		
18		16	水	4	Lektion 5：前置詞 前置詞の格支配		1
19	8	20	水	3	Lektion 5：前置詞 前置詞と定冠詞の融合形		1
20		20	水	4	Lektion 5：前置詞 話してみよう (どう行けばいいですか?), 読解5		3
21		27	水	4	ブロックテスト⑤ Lektion 5		
22	9	3	水	4	Lektion 6：話法の助動詞・従属の接続詞と副文・時刻の表現 助動詞の人称変化, 未来形		1
23		10	水	4	Lektion 6：話法の助動詞・従属の接続詞と副文・時刻の表現 従属の接続詞と副文, 時刻の表現		1
24		24	水	4	Lektion 6：話法の助動詞・従属の接続詞と副文・時刻の表現 話してみよう (誕生日おめでとう), 読解6		3
25	10	8	水	3	ブロックテスト⑥ Lektion 6		
26		15	水	3	Lektion 7：形容詞・比較 形容詞の格変化		1
27		22	水	3	Lektion 7：形容詞・比較 形容詞・副詞の比較級		1
28		29	水	3	Lektion 7：形容詞・比較 話してみよう (レストランで), 読解7		3
29	11	5	水	3	ブロックテスト⑦ Lektion 7		
30		12	水	3	Lektion 8：分離動詞・zu不定詞 分離動詞, 非分離動詞		1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
31	11	19	水	2	Lektion 8：分離動詞・zu不定詞 zu不定詞（句）	能 登 慶 和 笹 原 健	1
32		19	水	3	Lektion 8：分離動詞・zu不定詞 話してみよう（週末の予定は？），読解8		3
33		26	水	3	ブロックテスト⑧ Lektion 8		
34	12	3	水	3	Lektion 9：動詞の3基本形・過去表現 動詞の3基本形，過去分詞		1
35		3	水	4	Lektion 9：動詞の3基本形・過去表現 現在完了形		1
36		10	水	3	Lektion 9：動詞の3基本形・過去表現 話してみよう（週末に何をしたの？），読解9		3
37		10	水	4	Lektion 10：過去表現・再帰表現 過去形		1
38		17	水	3	Lektion 10：過去表現・再帰表現 再帰代名詞と再帰動詞		1
39		17	水	4	Lektion 10：過去表現・再帰表現 話してみよう（休暇中はどこにいたの？），読解10		3
40	1	7	水	3	ブロックテスト⑨ Lektion 9, Lektion 10		

Ⅵ. 評価基準（成績評価の方法・基準）

1. 成績は、各授業時に行う確認テスト（2割）、全9回のブロックテスト（5割）、3学期口頭試験（2割）、課題提出等（1割）から総合的に判定する。※1・2学期の定期試験は実施しない
2. 確認テストは事前の予習動画に基づいて出題する。
3. ブロックテストは各課の最後に行い、形成的評価とする。
4. 口頭試験では実際に対話を実践してもらうので、普段から発音を意識して積極的に対話練習に励むこと。

Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

教科書：「アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 改訂版」 小野壽美子・中川明博 著 朝日出版社 本体定価：2,860円（税込み）

Ⅷ. 質問への対応方法

質問は原則月曜～木曜まで随時受け付ける。簡単な質問であれば、授業中あるいは直後に対応可。研究室（基礎棟3階、ドイツ語教員室、内線2197）に直接来て質問してもよい。その際には予めアポイントを取ることが望ましい。

担当教員連絡先

能登 慶和：y-noto@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題等については授業やLMS等を通じて全体あるいは個別に適宜フィードバックを行う。返却されたプリント類は綴じておくことが望ましい。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

毎回必ず予習動画を視聴してから講義に臨むこと。また，プリントやLMS等での演習を通じて復習を行い，自主学習に努めること。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, LL-01-01-02, RE-01-01-02, IT-03-02-01